

■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図るため
施設概要	(1)所在地 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) (2)施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,884	81,265	69,903	20,132			
使用料合計(円)	9,033,817	8,759,535	7,630,108	3,393,137			
貸館率(%)	77.0	75.9	74.3	51.2			
講座等参加者数(人)	13,171	12,646	10,608	669			

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>《評価理由》 施設の貸館率は目標値に達していないが、これは、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛要請等の影響により、やむを得ない結果である。一方、講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は、前年度よりも高い割合となるとともに、目標値を上回っている。当該結果は、コロナ禍においても、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に向けた取組を着実に進めた結果であると評価できることから、「B」と評価する。</p> <p>《委員会意見》 ・講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は目標値を上回ったという点は、コロナ禍において、女性や男性をとりまく状況における問題点が改めて強く認識されるにいたったことと、そうした状況に対応ができていたことを示唆するものとする。 ・新型コロナウイルス感染症による影響により、市民の意識や生活様式に変化が見られている中で、当該状況が今後も継続していくことが想定されるため、より一層の施設の利用拡大に向けての取組を期待する。</p> <p>(参考) 新型コロナウイルス感染症の発生以降、その拡大状況や当該状況に伴う社会的な外出自粛要請の継続性について注視はしていたものの、令和2年度においては、その見通しが不明確であったため、指標1「施設の貸館率」の目標値変更は行っていない。</p>

指標1	
指標名 (%)	施設の貸館率 (%)
指標式と指標の説明	(1)指標式: 施設の利用回数 / 施設の利用可能回数 × 100 (2)指標の説明: 当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目 (%)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
実績値 (%)	77.0	75.9	74.3	51.2			
達成度 (%)	100.0%	97.3%	95.3%	65.6%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2	
指標名 (単位)	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合 (%)
指標式と指標の説明	(1)指標式: 講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数 / アンケートの総回答人数 × 100 ・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか (⇒「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数) ・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか (⇒「はい」と回答した人数) (2)指標の説明: 講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。

項目 (%)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
実績値 (%)	—	—	74.5	80.8			
達成度 (%)	—	—	106.4%	115.4%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>＜評価理由＞ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画が大きく縮小変更されたが、通年で実施している講座、講演会等や市が定める男女共同参画推進週間に関連した事業について、当該感染症の影響を受けながらも適切な本数を実施するとともに、時宜に合ったテーマ選択や他団体と共催することによってより有効な情報提供を行おうとする工夫が評価できる。また、オンライン形式の講座を開始するなど、社会状況に合わせた事業改善を行ったことについても評価できる。加えて、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値を上回っており、施設の設置目的を十分に達成していることから、「S」と評価した。</p> <p>なお、情報コーナーの運営や登録団体に関する事務については引き続き適切な運営等をお願いするとともに、登録団体連絡会の開催や、自主事業の実施については、オンラインによる事業実施を検討していただきたい。また、市民企画セミナーについては、参加者の男女共同参画意識がより高まるような内容となるよう、企画団体の支援が必要である。</p> <p>＜委員会意見＞ ・今後厳しい状況が続くものと思われるが、適切な事業を厳選するなど効果的な事業の選択に努めていただきたい。 ・様々な事業において、オンライン等来館によらない事業実施や団体間、市民間の連携に向けた取組を期待する。 ・市民活動が停滞する中で、市民活動の再活性化をけん引する取組やモデルとなる取組を担ってほしい。 ・特に、コロナ禍においては、非正規雇用や子育て世帯などソレイユさがみが支援に取り組んでいる対象者の困窮や孤立化が社会的な問題となっており、その観点において、様々な活動を活性化するための取組をお願いしたい。 ・コロナ禍での経験が、アフターコロナにおいても、たびたびの来館が難しいが相談などのサポートニーズを抱えている方々への柔軟な対応方策として位置づけられていくことを望む。</p>

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画運営	通年	「第3次さがみはら男女共同参画プラン」に基づき、性別にかかわらず、すべての個人が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、講座等の企画・運営を行った。 また、3月には新たな形態での講座(オンライン講座)を開催した。 ■実施事業数:12本 (ほか、新型コロナウイルス感染症の影響による中止事業20本) ■参加率:73.7% ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合:71.9%	◎
市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	11月7日(土)～11月23日(月・祝)	多くの市民が男女共同参画について考える機会となるよう、また、ソレイユさがみを広く周知するために、市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間(6/20～29)に合わせてソレイユフェスタを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、11/7～23に延期とし、講演会やセミナー、ワークショップを開催した。 ■実施事業数:9本 ■参加率:105.1% ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合:90.1%	◎
であいの広場におけるパネル展示	通年	「ソレイユさがみ開館20周年のあゆみ」のパネル展示を通して、広く男女共同参画に関する情報発信を行うとともに、「新型コロナウイルス感染症市内発生状況&PCR検査実績」を1週間ごとに更新して展示し、社会情勢に合わせた情報発信も併せて実施した。また、館内におけるDVD上映により、市民の男女共同参画に関する「気づき」を喚起し、意識啓発を図った。 ■パネル展示:1回(11月) ■気づきのコーナーの啓発展示:1回(8月～) ■DVDの上映:毎日(月3本)	◎
その他男女共同参画に係る各種情報の収集と提供	通年	インターネット等を活用し、ソレイユさがみの活動内容や男女共同参画に関する啓発情報を発信するとともに、ブックレビューを発行し、新着図書やおすすめ図書の案内、図書を読んだ感想等の発信を行った。 ■ホームページの充実 ■ソレイユニュースレターの発行(1,100部×4回) ■ソレイユブックレビュー桜美林大学学生号(特別号)の発行(800部×1回) ■ブックレビューの発行(850部×6回)	◎
市民企画セミナーの開催	通年	男女共同参画社会の実現を目指したセミナーや講演会等の企画、実施を希望する団体やグループに、講師謝礼を助成するとともに、セミナー等実施会場の提供や運営補助を行った。 ■企画団体数:1団体 ■実施事業数:1本 ■参加率:95% ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合:56.3%	△

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ソレイユゆめひろば (令和2年度は全て中止のため、参考記載)	—	女性の起業家支援事業として、であいの広場にてオリジナルハンドメイド作品の展示や販売を行うものであるが、不特定多数の方が対象の事業であるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は全て中止とした。	—

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>《評価理由》 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座等参加者数は前年の6%程度である669人と少数であったが、講座等参加者の満足度は高く、目標値を上回っているため、「A」と評価した。 また、来館を伴う講座及びオンライン講座のそれぞれにおいて満足度を把握している点については、今後のよりよい事業運営を目指す姿勢と捉えることができ、評価できる。加えて、貸館の利用等、様々な施設の利用方法がある中で、その利用方法ごとに利用者のニーズ等を把握するための取組を行っていることは、高く評価できる。</p> <p>《委員会意見》 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも講座を開催したことで、通常での講座開催以上の満足感があつたのではないかと。 ・アンケート調査にあたっては、満足度だけでなく、利用者にとっての必要性・重要性を何う必要もあると考えるため、その方法等を検討されたい。 ・利用者のアイデアや意見を踏まえた取組や新たな利用者の開拓につながるような事業の企画により、社会情勢にあつた施設として発展し続けられるよう取り組まれることを期待する。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期:通年 / サンプル数:321件
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問において、「大変満足」及び「満足」の割合の平均:90%以上

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	90	90	90	90	90
実績値 (%)	95.4	93.6	93.8	94.3			
達成度 (%)	104.9%	103.0%	104.2%	104.8%	0.0%	0.0%	0.0%

※平成29年度及び平成30年度は、実績値に110/100を乗じた値を達成度としていた。

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様の声	通年	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想等を募集するとともに、いただいた意見等に対する対応・回答を掲示し、利用者全体に周知するもの。
ソレイユさがみ施設利用記録用紙	通年	セミナールーム等の利用者に対し、利用内容・利用人数等のほか、施設への意見や要望等を尋ねるもの。
であいの広場利用記録用紙	通年	共有スペースであるコミュニティゾーン利用者に対し、利用人数や利用内容等を尋ねるもの。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	施設の収支については、本体事業収支、全体収支ともに黒字である。 団体の経営状況については、流動比率、自己資本比率は良好であるが、正味財産は減少しており、収益性は低い。指定管理事業で剰余金を出しているが、団体本体の財務状況は低迷していることから経営状況に若干の懸念があり、「A」評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入 (a)	25,756	26,593	27,873	
指定管理料	15,742	17,707	17,870	
使用料収入	8,760	7,630	3,393	
その他の収入	1,254	1,256	6,610	
支出 (b)	24,859	26,253	25,627	
人件費	20,381	22,047	20,974	
本社管理経費	0	0	0	
その他の支出	4,478	4,206	4,653	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	897	340	2,246	
自主事業収入 (d)	180	259	0	
自主事業支出 (e)	108	126	0	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	72	133	0	
全体収支 【(c)+(f)】	969	473	2,246	
備考	【R1→R2全体収支増の理由】 指定管理者制度導入施設協力金及びコロナ対策事業補助金による収入増が、施設休止等の影響による施設使用料収入の減や、新型コロナウイルス感染症対策のための支出増を上回ったことが、全体収支の増につながっている。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	令和2年10月6日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	適正に実施	

8 指定管理者の自己評価

第3次さがみはら男女共同参画プランに基づき、毎年開催しているウイメンズカレッジなど、様々な事業の計画をいたしました。合わせて5か月以上に及ぶ施設休止と、それに引き続いての2か月以上の事業自粛期間により、22事業36回の開催にとどまりました。事業の内容は11月に延期して開催したソレイユフェスタの事業など、参加率や意識高揚率も高く、コロナ禍の中で市内唯一の男女共同参画推進拠点として求められる事業を実施できたと考えております。運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、来館者の皆様からは安心して利用できたとのご意見も多くいただきました。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、様々な講座等を開催した結果、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標の70%を上回り、さらに前年度よりも6.3ポイント上昇した80.8%となったことは、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に大きく寄与する取組結果であり、評価できる。

また、利用者が安全に安心して施設を利用することができるよう、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行い、実際に施設利用者より安心して利用できた旨の意見が寄せられていることについても、高く評価できる。

上記の理由に加え、高い利用者満足度を維持していることから、施設運営は適切に行われているものと評価する。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施していく必要がある中でも、市内の男女共同参画の活動拠点として、より効果的な事業実施や質の高い施設運営ができるよう、オンライン環境の整備をはじめ、社会状況に即した積極的な取組を期待する。

10 選考委員会意見

コロナ禍において、女性をめぐる社会環境がより過酷になったにもかかわらず、それを受け止める先もコロナ禍により活動制限をよぎなくされる中で、必要な感染対策を徹底しながら事業を実施したことの意義は、利用者満足度の高さとして表れていると考える。また、当初の計画事業の実施が十分出来ない中で、真に必要な事業を選択と集中の視点で実施してきたことは適切な対応であった。併せて、コロナ禍におけるオンライン対応については、今後の新たな活動形態へと繋がっていく可能性として期待できるとともに、オンラインを通じた繋がりの継続が今後重要なポイントとなってくると考えられるため、その整備は必須である。

施設の経営状況については、新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金収入により、その収支は大きく改善されているが、法人の財務体質が弱く正味財産の増加には繋がっていないため、引き続き経営努力をされたい。

在宅勤務等による生活様式の変化に伴い、新しく様々な活動に参画される方がいる中で、新たな担い手の育成、新たな活動の活性化、支援を必要としている方を適切な支援に繋げる取組が充実するように、施設運営を進めていただきたい。また、今後、地域の様々な活動の結節点であり、コロナ禍で露呈した様々なニーズに対する対応をマネジメントしていく拠点となることと併せて、男女共同参画の推進拠点としての独自性を高め、男女共同参画社会の実現に向けて各種事業を展開していくことを期待する。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

